

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	4	上野依那古2期地区	伊賀市		<p>【全体事業概要】 道路工 L=2,390m</p> <p>【事業目的】 当地区は、伊賀米の産地として付加価値の高い農業が営まれています。 農業経営の安定化と併せて農村環境の改善を図るため、農道の整備するものです。</p>	H6	899	35.5%	道路工 L=297m	<p>平成18年度現在、全体事業費856百万円となっており、当初計画時点より280百万円の増となっています。 事業費変更の内容は、環境調査費の増や路線変更に伴う用地買収費や法面保護工事費の増によるものです。 また、平成9年度に上野新都市がオープンし、当道路はそのアクセス道路としても利用され早期完成が望まれています。</p>	<p>事業費の増はあるものの、割引率が5.5%から4%に変わったこともあり、平成6年度事業採択時の費用対効果分析結果は、1.31でしたが、現時点では1.50となりました。 また、農家のアンケートや農業を考える会の議論結果を踏まえ、将来的な営農をもとに効果を算定しました。 他の公共事業からの残土流用、再生材を利用した舗装の実施や伐採木や根株を法面緑化材として利用するなど、コストの縮減に努めます。</p>	<p>新しいルート案は、当初より地域住民が要望していたルート案を、徹底した環境調査と対応により、自然環境に対応した農道計画としたものです。 このため、早期完成が強く望まれており、平成22年度には完了する予定です。</p>	<p>【第5回委員会】 審議未了のため継続審議とする。 【第6回委員会】 当初計画と変更計画との比較について、説明が不足していた。従って、これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。 【第7回委員会】 自然保護への配慮がされていること、事業が相当程度進捗し事業効果の発現を促す必要があることから事業継続を了承する。ただし、類似の事業については主として農業振興の視点から、事業の推進に努め、また本委員会への説明を期待するものである。</p>
							856	35.5%					
						H22	224	45.5%					

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業